令和2年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	22	事業No.	142
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始	H21	終了	

事務事業名	環境モデル都市行動計画進行管理事業
担当課等名	環境モデル都市推進課

根拠

主要区分	主	記号	計画等名称
戦略計画	○	10	豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
分野別計画			飯田市環境基本計画（21’いいだ環境プラン）
			第２次飯田市環境モデル都市行動計画改訂版
法令・例規等			飯田市環境基本条例
			飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例

事業目的	
対象	市民・事業者
意図	市民（地域団体）が、持続可能な地域づくりと温室効果ガスの削減のため、住民主体の再生可能エネルギー活用事業に取り組む

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価) ★印はISO配慮事項	★令和元年度は、地域公共再生可能エネルギー活用事業において２件を地元を支援しながら認定することができました。FITによる太陽光発電が普及する中で、太陽光発電に関しては、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）に依存しない新たな視点での地域公共再生可能エネルギー活用事業の創出が必要になってきています。市内エネルギー使用量調査の結果を踏まえ持続可能な環境社会の模索が必要です。

2年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
第２次環境モデル都市行動計画改訂計画に基づき、地域公共再生可能エネルギー事業を地域環境権条例の支援によって創出していきます。 これまでと同様に、太陽光発電の審査案件を支援しながら、エネルギー街区の検討や計画、FITに依存しない、エネルギーの域産域消等新たな視点による地域経済の活性化と地域社会の課題解決を実現する仕組みづくり、地域における気候変動適応策について、推進していきます。 環境モデル都市の取り組みを地域外へも情報発信し、環境モデル都市の取り組みを展開をさせていきます。また、環境先進自治体とのネットワークを生かし、新たな政策立案に反映させます。 第３次飯田市環境モデル都市行動計画を策定します。	飯田市再生可能エネ導入支援審査会運営	697
	地域環境権条例要綱検討	121
	国、県との環境エネルギー政策意見交換・情報収集	218
	環境先進自治体等を通じた情報発信・ネットワーク構築	876
	気候変動適応策検討	27
	中部環境先進5市サミットin飯田開催関連	319
	環境モデル都市行動計画パンフレット作成	110
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
再エネ導入支援審査会での指導・助言	回	10	2	10	4	8		8	
環境先進自治体等との協議回数	回	12	3	12	2	16		11	

2年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	2,368	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	2,368	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	4	1	5	19	1	2,368 0	環境モデル都市行動計画進行管理事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								